

# 平成 19 年度 分析・物質技術系活動報告

駒井慎一

工学研究科・工学部技術部 分析・物質系

本技術系業務は、各専攻(学科)、工学研究科および全学共通施設として配置されている各種の科学分析機器の性能維持、操作、分析・観察とその周辺の技術業務を行っている。例えば化学・生物工学専攻においては、ガスクロマトグラフ二重収束型質量分析装置および走査型電子顕微鏡周辺等の技術業務の他、分析化学実験、ガラス細工講座講習・真空系装置の製作、講座支援業務等がある。マテリアル理工学専攻・材料工学分野においては、電子プローブ(X線)マイクロアナライザーおよびX線回折装置周辺の技術業務の他、材料工学学生実験、講座支援業務がある。工学研究科共通においては、有機微量分析装置、超強力X線回折装置、単結晶X線構造解析装置およびレーザーラマン分光光度計周辺の技術業務がある。全学共通においては、1000kV超高压走査透過電子顕微鏡、200kV電子顕微鏡周辺の業務がある。

これらの各種機器は教員と技術職員からなる各委員会組織下により、管理・運営されている。特に、これらの業務実施にあっては分析機器の専門的な知識と技術の他に、教員(学生)が意図とすると分析・観察目的の深い理解が必要であり、教員(学生)と密接に連帯した形態によって業務実施されている。

また、分析技術の集約・継承について、工学研究科内では類似した分析機器が極めて少ないが、全学的には類似した複数の分析機器があり、比較的容易に対応できると判断される。今後、工学研究科や学内に留まらず、学外の大学・研究機関との技術交流も視野にした分析技術の向上に対応することが重要な課題である。

本技術系の業務運営にかかわる業務委員会などは適宜開催している。

## 第1回 分析・物質系業務委員会

日時 平成 19 年 5 月 2 日(水) 15 時～

場所 工学研究科・工学部技術部 会議室

- 議題
1. 平成 19 年度分析・物質系業務について
  2. 平成 19 年度工学研究科・工学部技術部研修について
  3. 学外研修、学外技術交流について
  4. その他

第2回 分析・物質系業務委員会

日時 平成19年7月18日(水) 13時30分～

場所 工学研究科・工学部技術部 会議室

- 議題
1. 工学研究科・工学部技術部便覧に掲載する系の業務内容について
  2. 名古屋大学技術職員研修について
  3. 工学研究科・工学部技術部講習会について
  4. 学外研修費、技術開発費、図書費について
  5. その他

上記の他に、分析・物質系業務委員で協議が必要な案件については、メール等で協議をした。

第3回分析・物質系業務委員会と第1回分析・物質系業務線も委員会については、3月中に開催を予定。